

2010年度キャリア・就職支援への取り組み調査

- 内容 大学のキャリア・就職支援の実態調査
 実施期間 2010年4月22日～2010年6月11日まで
 調査対象 全国の大学就職課・キャリアセンターの窓口
 調査方法 アンケート用紙を全国の就職窓口にて弊社大学担当が配布の上、FAX若しくは直接回収。
 回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	81	248	329
キャンパス別の回答数	2	19	21
総計	83	267	350

※キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、一回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	6	11	17
東北	5	13	18
関東	16	100	116
甲信越	6	12	18
東海	3	28	31
北陸	3	5	8
関西	10	42	52
中国・四国	14	23	37
九州	20	33	53
総計	83	267	350

質問事項

1) 学内ガイダンスについて	開催回数の増減 学生のトータル参加人数の増減 開催時期の変動 ガイダンスの開始時期 ガイダンスで強化したプログラム(複数回答)
2) 学内企業説明会について	開催日数の増減 学生のトータル参加人数の増減 開催時期の変動 学内企業説明会の開始時期 トータル参加企業数の増減 2011年卒向けの4月以降の開催日数の増減
3) 就職課やキャリアセンターへの 学生からの相談について	相談件数の増減 相談に来る時期の変動 相談の受付時間に関する変動 相談の受付時間 対応スタッフの人数、及び人数の増減 外部カウンセラーの人数、及び人数の増減 これまでに一番困った相談(自由回答)
4) 低学年時のキャリアガイダンスについて	実施の有無 トータルの実施回数 開催時期の変動 低学年ガイダンスの開始時期 トータルのガイダンス回数
5) キャリア支援を目的とした正規科目 の実施について	キャリア支援を目的とした正規科目実施の有無 その科目は必修か選択式か 正規科目の対象年次(複数回答可) 何割の学生が一度はキャリアの科目を履修したことになるか

■ 日本資料について □

資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
 株式会社 毎日コミュニケーションズ 就職情報事業本部 HRリサーチセンター
 TEL: 03(6267)4571 / E-mail: hrrc@mycom.co.jp

□調査結果 概要

■1) 学内ガイダンスについて (P3)

2011年卒向け学内就職ガイダンス実施回数の増減は「前年並み」が62.0%と最も多いものの、「増やしている」大学が36.8%と、厳しい状況に機敏に反応している。開催時期を「早めている」大学は28.0%と、時期的にはやや前倒しの傾向。就職ガイダンスの中で今期特に力を入れたプログラムは「エントリーシート・履歴書対策」46.8%や、「面接対策」41.2%、「自己分析対策」36.5%や、「SPI・一般常識対策」35.5%といった具体的な選考対策に力を入れていることがわかる。就職ガイダンス開始時期は2009年4月が35.9%と最も多く、初回は学生が多く集まるオリエンテーションの時期に、就職に対する意識を高める目的で実施しているケースが多い様子。

■2) 学内企業説明会について (P5)

学内の企業説明会は「増やしている」が20.6%と、私立を中心に比較的増加傾向にある。学生の動員は「増えている」が49.3%と、約半数の大学で参加人数が増えている。学内企業説明会に参加する企業の増減については「減っている」が26.9%と、「増えている」の21.3%を上回っており、景気の影響からか参加を見送る企業も少なからず存在することを示唆している。学内で開催される企業説明会の開始時期は2月が38.6%と最も多い。これは早期化是正を求める大学側の姿勢を明確に示す為、私立を中心とした団体が就職活動を前倒ししないよう、自主的に規制をかけている為だ。大学としては今後も継続的に学生への機会拡大に努めるため、4月以降も学内企業説明会の実施を「増やす予定」が38.7%となっている。

■3) 就職課やキャリアセンターへの学生からの相談について (P7)

学生が就職課やキャリアセンターへ相談にくる件数も61.4%と増加傾向にある。相談に来る時期も53.6%が「早くなっている」と回答。学生の個別相談に少しでも対応していこうと、対応スタッフの人数を「増やしている」という回答は、私立を中心に24.4%と人数を増やす傾向にある。就職相談員(キャリアカウンセラー)などの職員以外の支援専門スタッフである外部カウンセラーも「増やしている」が39.2%と、学生個別の対応に力を入れている。一学年あたりの卒業人数に対し、対応スタッフ及び外部カウンセラー1名につき何名の学生を担当するのか算出してみると、平均172.3名に対して私立は145.8名と、人数上での個別対応が充実していることがわかる。個別の相談において、「これまでに一番困った相談」は何かを聞いてみたところ、意思決定しない(出来ない)学生の相談が最も多かった。それ以外には内定辞退の方法やエントリーシート添削といった対応などで苦慮しているケースが見られる。中でも最近話題のモンスターペアレンツを彷彿とさせるような、両親の介入といった問題も少なからずあるようだ。

■4) 低学年時のキャリアガイダンスについて (P9)

大学の1・2年次からキャリアガイダンスを「実施している」大学は私立を中心に70.0%と、低学年から自分の進むべきキャリアを模索する機会の拡大にも努めている。トータルの実施回数も「増やしている」という回答が21.5%と、少しずつではあるが増加傾向にある。ガイダンスの開始時期も「早めている」が14.2%と前倒しになってきている。低学年向けの開始時期は1年生の前期からはじめる学校が多い。

■5) キャリア支援を目的とした正規科目の実施について (P10)

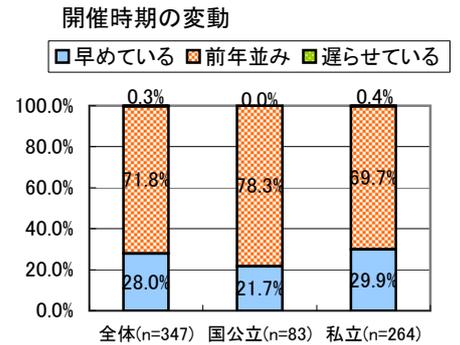
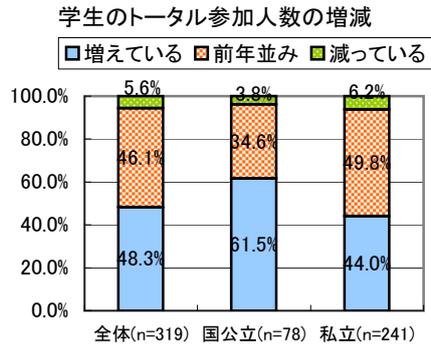
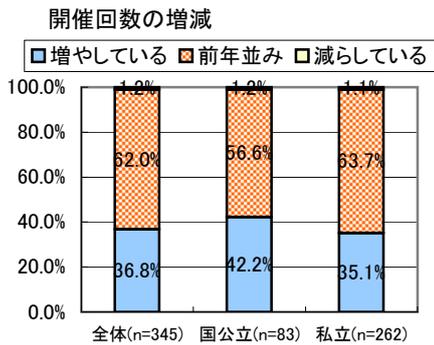
キャリアガイダンスとは別に、キャリア支援を目的とした正規科目としての授業を「実施している」大学が75.7%と、各大学で取り組みが進んでいる。当該授業が選択科目か必修科目かについて「選択」が60.8%となっており、キャリアへの関心が薄い低学年時に対しては実効性はやや欠けるのかもしれない。しかし、この取り組み比率を見る限り、着々と社会人への準備を行えるようにカリキュラムの整備し、体制を整えていると言えるのではないだろうか。

1) 学内ガイダンスについて

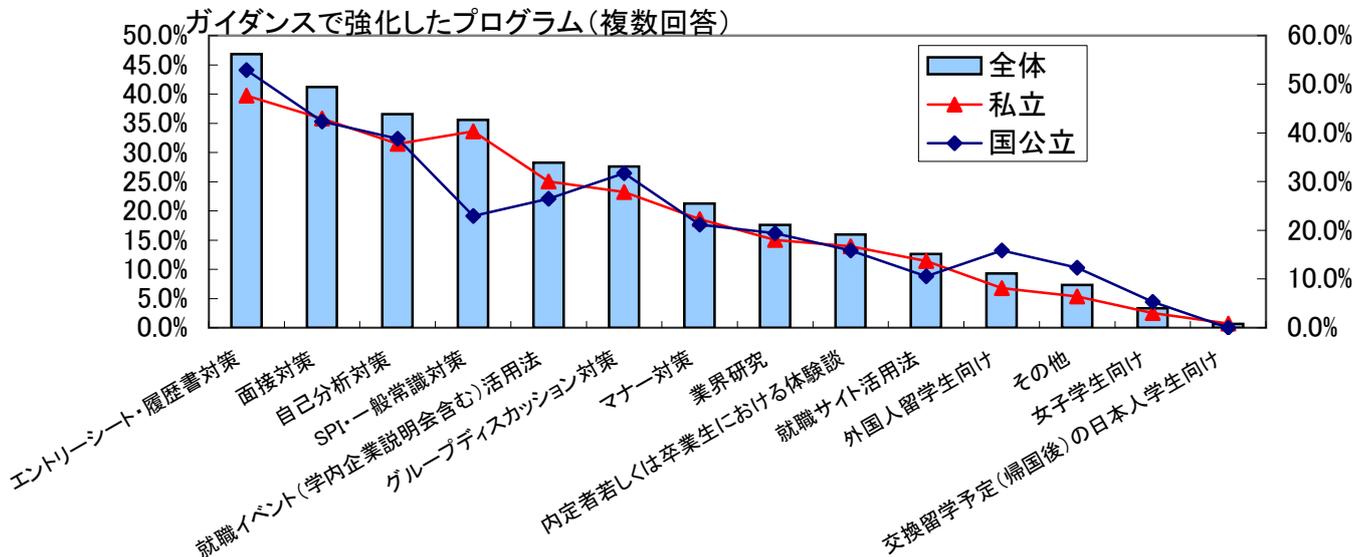
開催回数の増減	全体(n=345)	国公立(n=83)	私立(n=262)
増やしている	36.8%	42.2%	35.1%
前年並み	62.0%	56.6%	63.7%
減らしている	1.2%	1.2%	1.1%

学生のトータル参加人数の増減	全体(n=319)	国公立(n=78)	私立(n=241)
増えている	48.3%	61.5%	44.0%
前年並み	46.1%	34.6%	49.8%
減っている	5.6%	3.8%	6.2%

開催時期の変動	全体(n=347)	国公立(n=83)	私立(n=264)
早めている	28.0%	21.7%	29.9%
前年並み	71.8%	78.3%	69.7%
遅らせている	0.3%	0.0%	0.4%

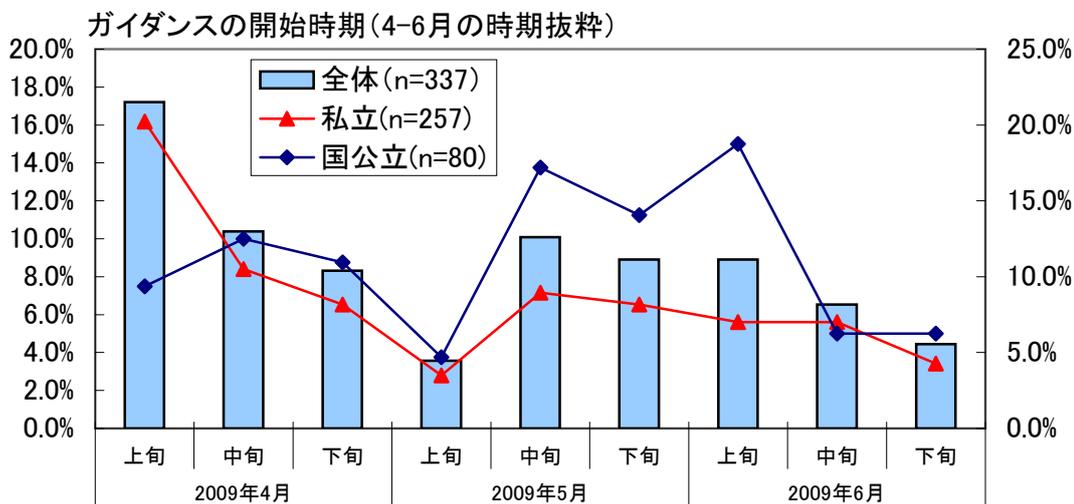
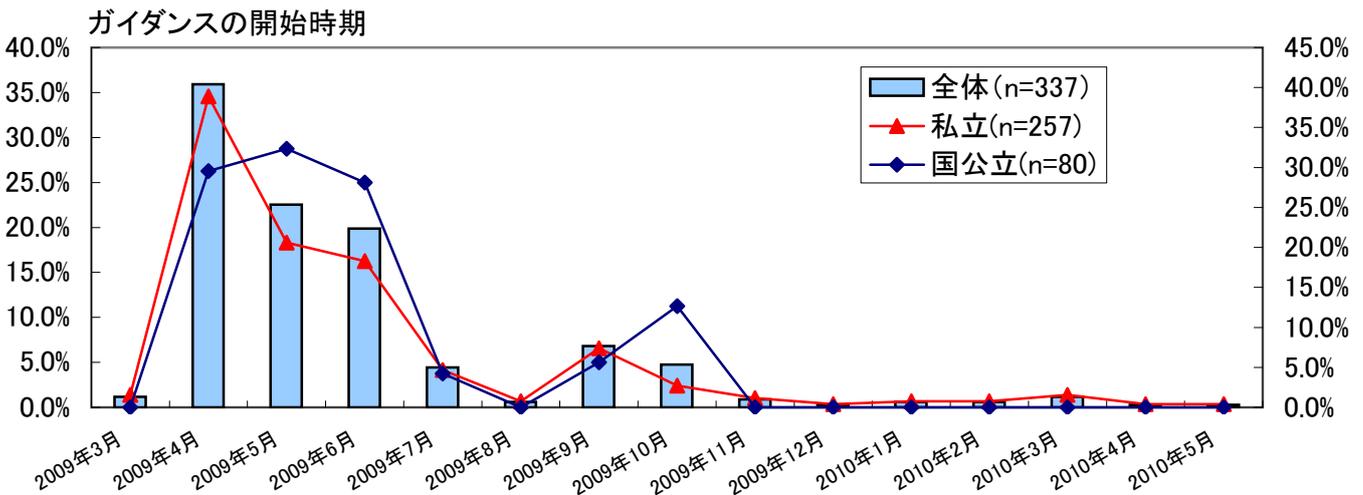


ガイダンスで強化したプログラム(複数回答)	全体(n=301)	国公立(n=68)	私立(n=233)
マナー対策	21.3%	17.6%	22.3%
自己分析対策	36.5%	32.4%	37.8%
エントリーシート・履歴書対策	46.8%	44.1%	47.6%
就職イベント(学内企業説明会含む)活用法	28.2%	22.1%	30.0%
就職サイト活用法	12.6%	8.8%	13.7%
グループディスカッション対策	27.6%	26.5%	27.9%
SPI・一般常識対策	35.5%	19.1%	40.3%
面接対策	41.2%	35.3%	42.9%
女子学生向け	3.3%	4.4%	3.0%
外国人留学生向け	9.3%	13.2%	8.2%
交換留学予定(帰国後)の日本人学生向け	0.7%	0.0%	0.9%
業界研究	17.6%	16.2%	18.0%
内定者若しくは卒業生における体験談	15.9%	13.2%	16.7%
その他	7.3%	10.3%	6.4%



ガイダンスの開始時期	全体(n=337)	国公立(n=80)	私立(n=257)
2009年3月	1.2%	0.0%	1.6%
2009年4月	35.9%	26.3%	38.9%
2009年5月	22.6%	28.8%	20.6%
2009年6月	19.9%	25.0%	18.3%
2009年7月	4.5%	3.8%	4.7%
2009年8月	0.6%	0.0%	0.8%
2009年9月	6.8%	5.0%	7.4%
2009年10月	4.7%	11.3%	2.7%
2009年11月	0.9%	0.0%	1.2%
2009年12月	0.3%	0.0%	0.4%
2010年1月	0.6%	0.0%	0.8%
2010年2月	0.6%	0.0%	0.8%
2010年3月	1.2%	0.0%	1.6%
2010年4月	0.3%	0.0%	0.4%
2010年5月	0.3%	0.0%	0.4%

集中時期の4-6月の内訳	全体(n=337)	国公立(n=80)	私立(n=257)	
2009年4月	上旬	17.2%	7.5%	20.2%
	中旬	10.4%	10.0%	10.5%
	下旬	8.3%	8.8%	8.2%
2009年5月	上旬	3.6%	3.8%	3.5%
	中旬	10.1%	13.8%	8.9%
	下旬	8.9%	11.3%	8.2%
2009年6月	上旬	8.9%	15.0%	7.0%
	中旬	6.5%	5.0%	7.0%
	下旬	4.5%	5.0%	4.3%



2) 学内企業説明会について

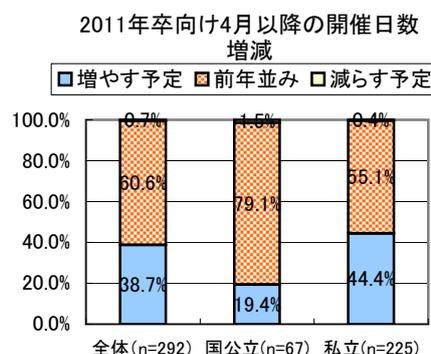
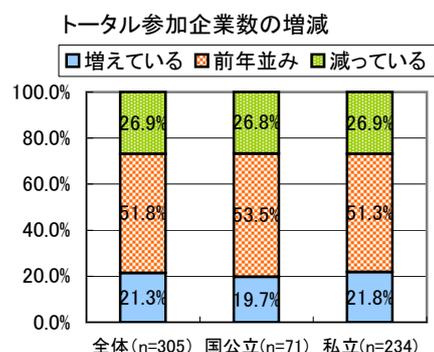
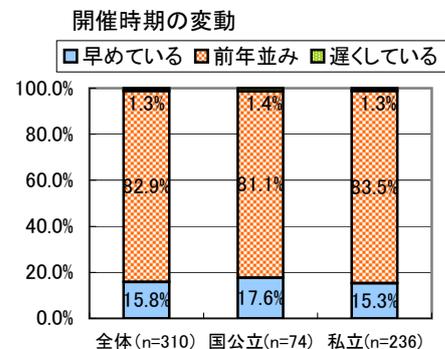
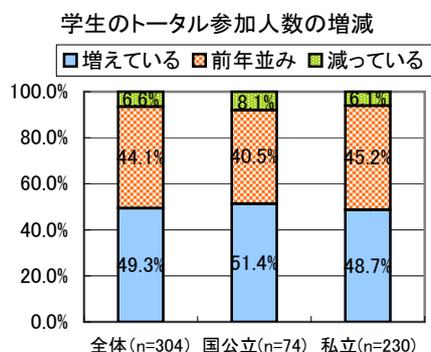
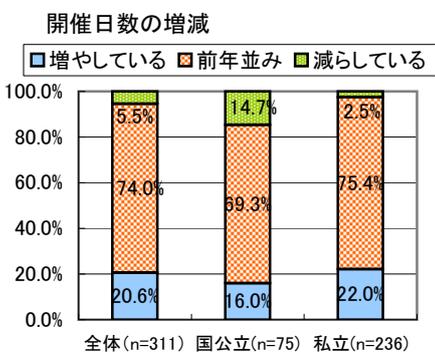
開催日数の増減	全体(n=311)	国公立(n=75)	私立(n=236)
増やしている	20.6%	16.0%	22.0%
前年並み	74.0%	69.3%	75.4%
減らしている	5.5%	14.7%	2.5%

学生のトータル参加人数の増減	全体(n=304)	国公立(n=74)	私立(n=230)
増えている	49.3%	51.4%	48.7%
前年並み	44.1%	40.5%	45.2%
減っている	6.6%	8.1%	6.1%

開催時期の変動	全体(n=310)	国公立(n=74)	私立(n=236)
早めている	15.8%	17.6%	15.3%
前年並み	82.9%	81.1%	83.5%
遅くしている	1.3%	1.4%	1.3%

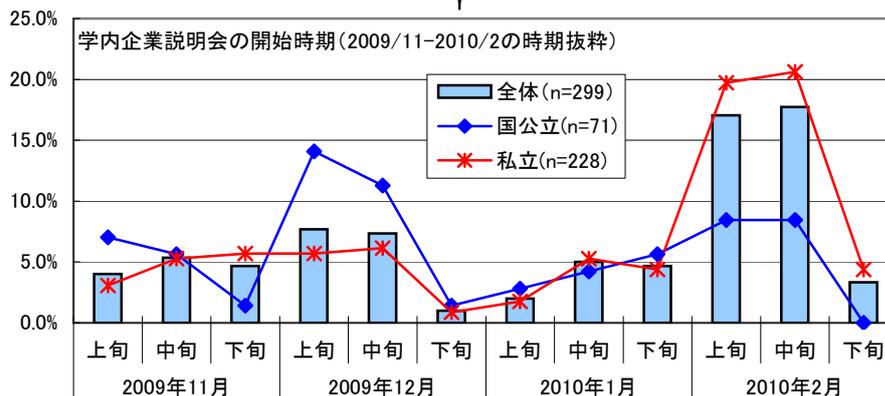
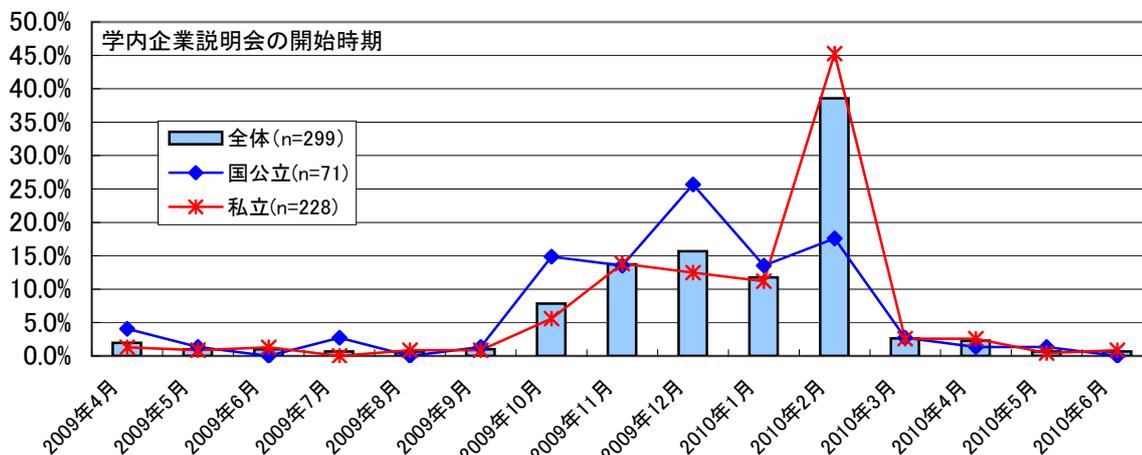
トータル参加企業数の増減	全体(n=305)	国公立(n=71)	私立(n=234)
増えている	21.3%	19.7%	21.8%
前年並み	51.8%	53.5%	51.3%
減っている	26.9%	26.8%	26.9%

2011年卒向け4月以降の開催日数増減	全体(n=292)	国公立(n=67)	私立(n=225)
増やす予定	38.7%	19.4%	44.4%
前年並み	60.6%	79.1%	55.1%
減らす予定	0.7%	1.5%	0.4%



学内企業説明会の開始時期	全体(n=299)	国公立(n=71)	私立(n=228)
2009年4月	2.0%	4.1%	1.3%
2009年5月	1.0%	1.4%	0.9%
2009年6月	1.0%	0.0%	1.3%
2009年7月	0.7%	2.7%	0.0%
2009年8月	0.7%	0.0%	0.9%
2009年9月	1.0%	1.4%	0.9%
2009年10月	7.8%	14.9%	5.6%
2009年11月	13.7%	13.5%	13.8%
2009年12月	15.7%	25.7%	12.5%
2010年1月	11.8%	13.5%	11.2%
2010年2月	38.6%	17.6%	45.3%
2010年3月	2.6%	2.7%	2.6%
2010年4月	2.3%	1.4%	2.6%
2010年5月	0.7%	1.4%	0.4%
2010年6月	0.7%	0.0%	0.9%

集中時期の11-2月の内訳	全体(n=299)	国公立(n=71)	私立(n=228)	
2009年11月	上旬	4.0%	7.0%	3.1%
	中旬	5.4%	5.6%	5.3%
	下旬	4.7%	1.4%	5.7%
2009年12月	上旬	7.7%	14.1%	5.7%
	中旬	7.4%	11.3%	6.1%
	下旬	1.0%	1.4%	0.9%
2010年1月	上旬	2.0%	2.8%	1.8%
	中旬	5.0%	4.2%	5.3%
	下旬	4.7%	5.6%	4.4%
2010年2月	上旬	17.1%	8.5%	19.7%
	中旬	17.7%	8.5%	20.6%
	下旬	3.3%	0.0%	4.4%



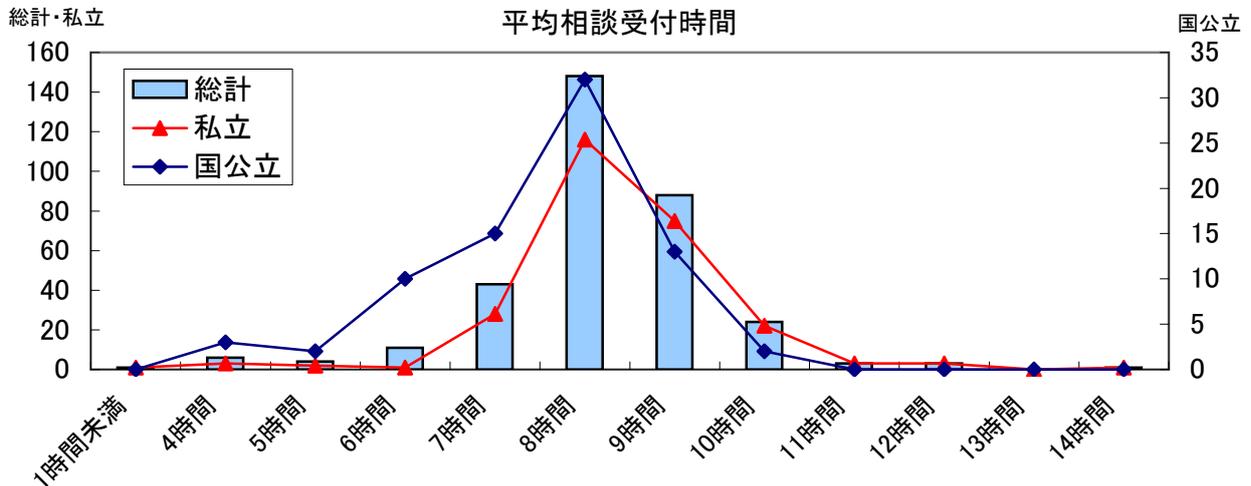
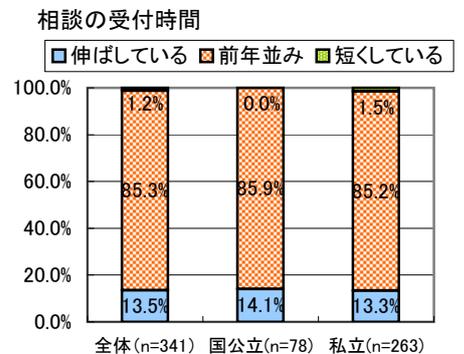
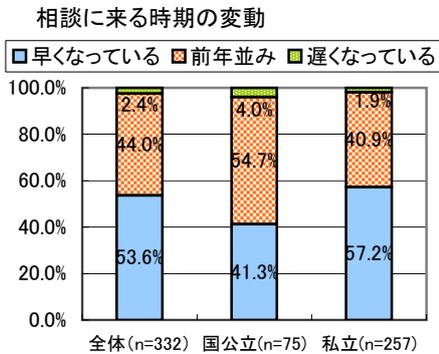
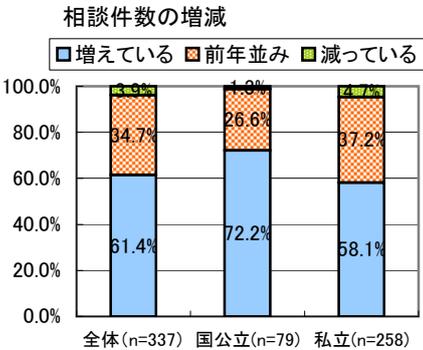
3) 就職課やキャリアセンターへの学生からの相談について

相談件数の増減	全体(n=337)	国公立(n=79)	私立(n=258)
増えている	61.4%	72.2%	58.1%
前年並み	34.7%	26.6%	37.2%
減っている	3.9%	1.3%	4.7%

相談に来る時期の変動	n=332	全体(n=332)	国公立(n=75)	私立(n=257)
早くなっている		53.6%	41.3%	57.2%
前年並み		44.0%	54.7%	40.9%
遅くなっている		2.4%	4.0%	1.9%

相談の受付時間	n=341	全体(n=341)	国公立(n=78)	私立(n=263)
伸ばしている		13.5%	14.1%	13.3%
前年並み		85.3%	85.9%	85.2%
短くしている		1.2%	0.0%	1.5%

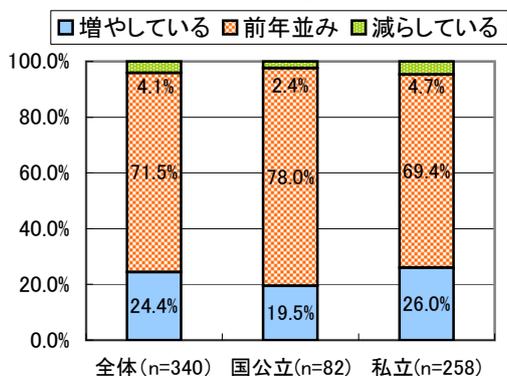
受付時間BEST5	単位(校)	単位(校)		
		全体	国公立	私立
1位	9:00-17:00	122	23	99
2位	9:00-18:00	63	10	53
3位	9:00-16:00	21	4	17
4位	10:00-17:00	15	10	5
5位	9:00-19:00	13		13
平均受付時間(単位:時間)		8.2	7.6	8.4



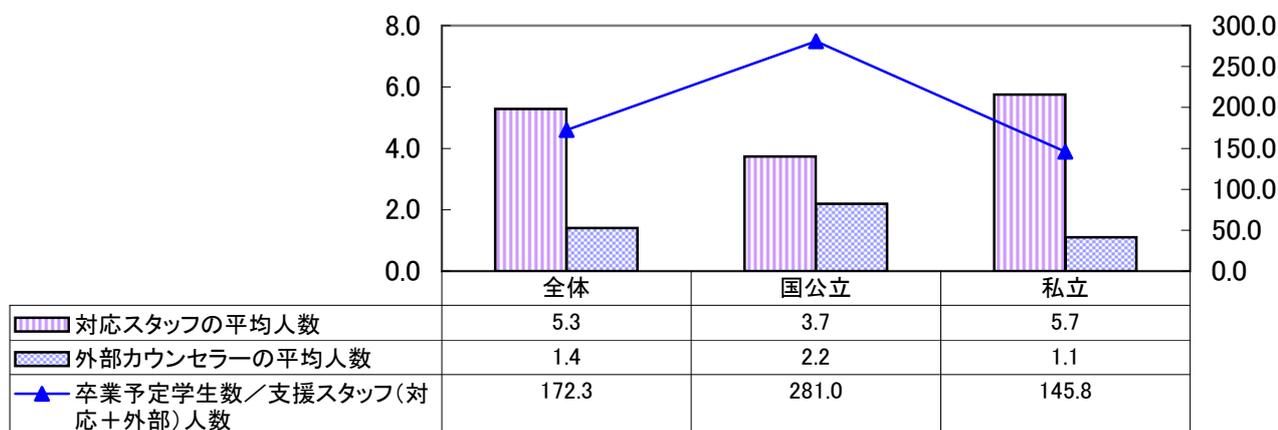
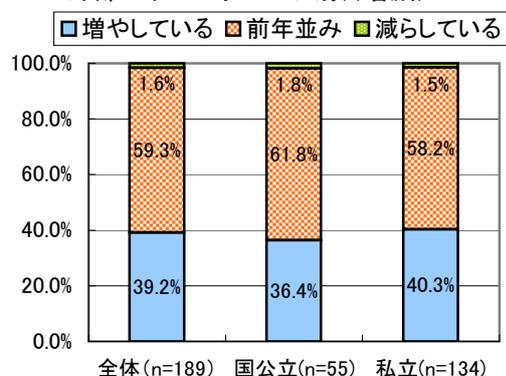
対応スタッフの人数(増減)	全体(n=340)	国公立(n=82)	私立(n=258)
増やしている	24.4%	19.5%	26.0%
前年並み	71.5%	78.0%	69.4%
減らしている	4.1%	2.4%	4.7%
スタッフ人数合計	1,796	295	1,501
1校平均人数	5.3	3.7	5.7

外部カウンセラーの人数(増減)	全体(n=189)	国公立(n=55)	私立(n=134)
増やしている	39.2%	36.4%	40.3%
前年並み	59.3%	61.8%	58.2%
減らしている	1.6%	1.8%	1.5%
スタッフ人数合計	420	160	260
1校平均人数	1.4	2.2	1.1

対応スタッフの人数(増減)



外部カウンセラーの人数(増減)



これまでに一番困った相談(自由回答)をこちらで分類し、集計した。
詳細は別シート参照

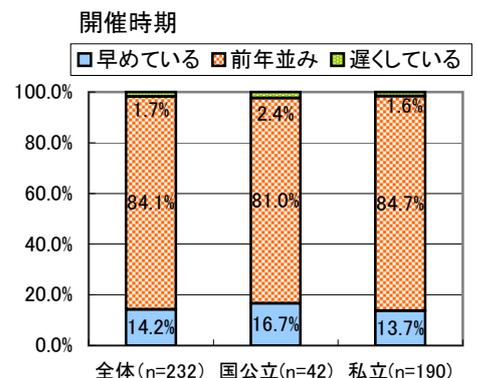
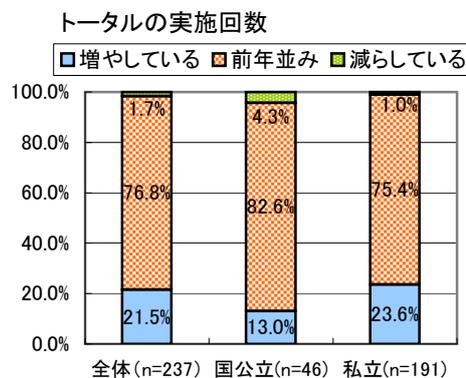
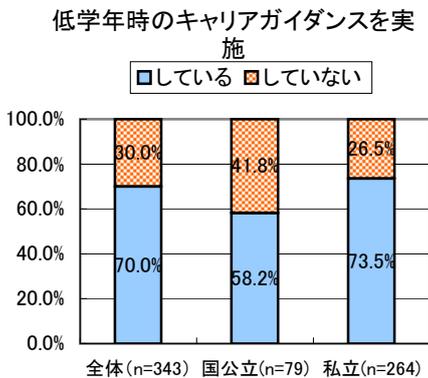
多く相談のあった分類内容	全体(n=121)	国公立(n=19)	私立(n=102)
意思決定不足(他者依存)	23	2	21
内定辞退	15	1	14
メンタルケア	14	1	13
ES対策	10	1	9
保護者・父母系	10		10

4) 低学年時のキャリアガイダンスについて

低学年時のキャリアガイダンスを実施	全体(n=343)	国公立(n=79)	私立(n=264)
している	70.0%	58.2%	73.5%
していない	30.0%	41.8%	26.5%

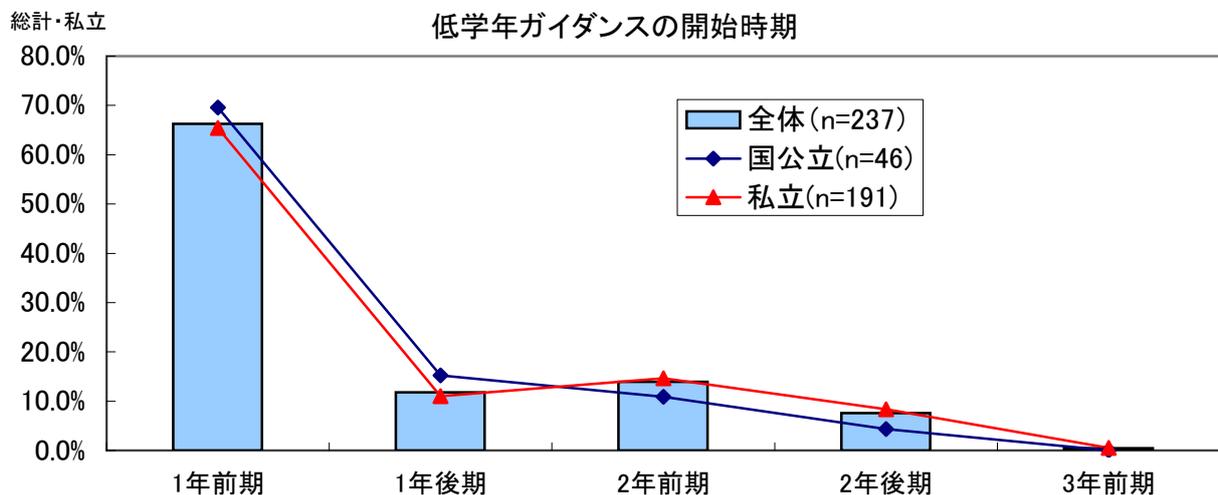
トータルの実施回数	全体(n=237)	国公立(n=46)	私立(n=191)
増やしている	21.5%	13.0%	23.6%
前年並み	76.8%	82.6%	75.4%
減らしている	1.7%	4.3%	1.0%

開催時期	全体(n=232)	国公立(n=42)	私立(n=190)
早めている	14.2%	16.7%	13.7%
前年並み	84.1%	81.0%	84.7%
遅くしている	1.7%	2.4%	1.6%



低学年ガイダンスの開始時期	全体(n=237)	国公立(n=46)	私立(n=191)
1年前期	66.2%	69.6%	65.4%
1年後期	11.8%	15.2%	11.0%
2年前期	13.9%	10.9%	14.7%
2年後期	7.6%	4.3%	8.4%
3年前期	0.4%	0.0%	0.5%

トータルガイダンス回数	n=219	全体(n=219)	国公立(n=43)	私立(n=176)
回答学校数		219	43	176
ガイダンス回数合計		1,531	165	1,366
1校平均回数		7.0	3.8	7.8

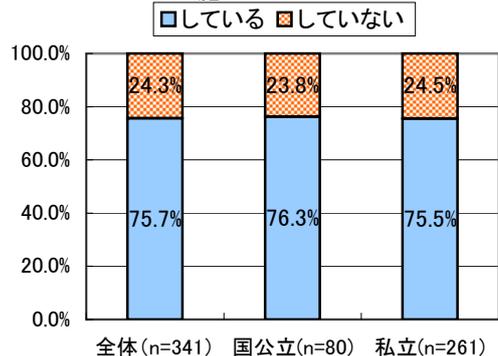


5) キャリア支援を目的とした正規科目の実施について

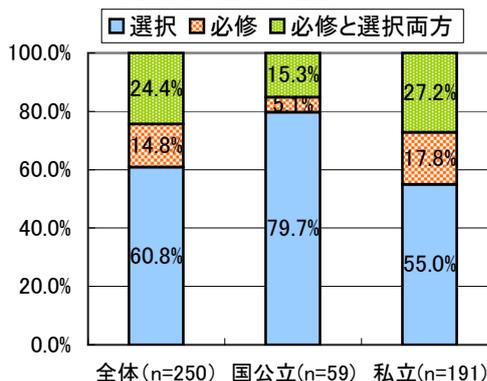
キャリア支援を目的とした正規科目の実施	n=341	全体(n=341)	国公立(n=80)	私立(n=261)
している		75.7%	76.3%	75.5%
していない		24.3%	23.8%	24.5%

その正規科目は選択か必修か	n=250	全体(n=250)	国公立(n=59)	私立(n=191)
選択		60.8%	79.7%	55.0%
必修		14.8%	5.1%	17.8%
必修と選択両方		24.4%	15.3%	27.2%

キャリア支援を目的とした正規科目の実施



その正規科目は選択か必修か

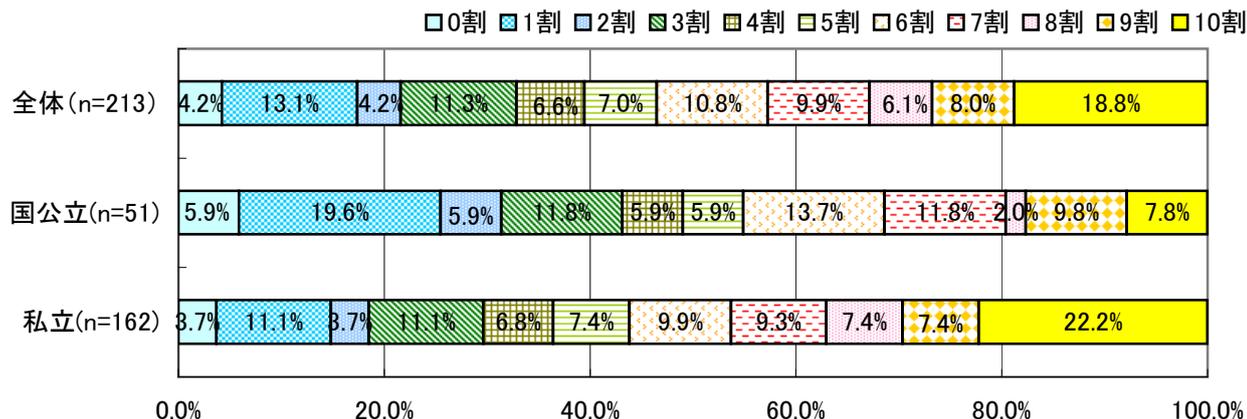


実施年次(複数回答)	n=258	全体(n=258)	国公立(n=62)	私立(n=196)
1年次		76.4%	75.8%	76.5%
2年次		86.4%	90.3%	85.2%
3年次		70.9%	66.1%	72.4%
4年次		25.2%	30.6%	23.5%

概算で何割の学生が一度はキャリアの科目を履修したことになるか

	n=213	全体(n=213)	国公立(n=51)	私立(n=162)
0割		4.2%	5.9%	3.7%
1割		13.1%	19.6%	11.1%
2割		4.2%	5.9%	3.7%
3割		11.3%	11.8%	11.1%
4割		6.6%	5.9%	6.8%
5割		7.0%	5.9%	7.4%
6割		10.8%	13.7%	9.9%
7割		9.9%	11.8%	9.3%
8割		6.1%	2.0%	7.4%
9割		8.0%	9.8%	7.4%
10割		18.8%	7.8%	22.2%

概算で何割の学生が一度はキャリアの科目を履修したことになるか



7) これまでに一番困った相談 自由回答から一部抜粋

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	本気で就職活動していないのに就職希望、自分に適した仕事が見つからないという相談
関東	私立	4年生の夏に就活を始めた学生から、自分は何もわからないので、受験する会社を決めてくれないかと言われた。決めてくれれば、その会社を受けるとのことだった。
関東	私立	あまり困った質問はないが、ここ数年学生が何かと「〇〇しても大丈夫ですか?」と問いかけるのには閉口している。(潜在意識として自分で決断するのを避けたいと考えているらしい)
関東	私立	4年次になっても自己分析が出来ていない(あまり困っていない)、自己理解が出来ておらず目標が見出せない状態の学生への対応
甲信越	私立	大学進学を含め、就職活動をするまで何も自分自身で決めた経験が無く、何をしたいのか、どの企業に応募したいのかもわからない、決められない。
甲信越	私立	一番困ったというわけではありませんが、なりたい職業観も含めて「何をしたいのかわからない。将来どうしたいのかわからない」という相談は対応が難しい。
四国	国公立	内定を複数貰った学生から「1社に絞りたいから選んで欲しい」といわれたこと。
中国	国公立	依存性の高い学生(自分で考えるのではなく、「答え」を求めてくる学生)への対応について。学生に考えさせようと促すが、そうすることで面談に多くの時間がかかってしまうこと。
東北	私立	なんと答えれば内定をもらえるのか? 内定がもらえるエントリーシートに添削してほしい。なぜ就職しなければならないのか?
東北	私立	学生本人のモチベーション(意識が低い若しくは就職に必然性を感じられない)に関わる相談。自分で判断することが出来ずに、依存してくるような相談(業種・職種・履歴書への記載内容・内定承諾就職先の選択等)。就活資金不足・学業との両立等。
関東	私立	翌日が提出締切のエントリーシートを白紙で持ってくる相談が時々あります。
関東	私立	エントリーシートや履歴書の書き方がわからない。内定が取れずに困っている。
関東	私立	自己PRが全く書けない学生が多くなった。
甲信越	国公立	エントリーシートを書いて欲しい。つぶれない会社はどこですか。自分に合う会社をみつけてほしい。以上のような内容について
東海	国公立	ESの課題そのものについて理解が浅く、回答の正解が何かを求めてきた。
東北	私立	就職活動のための準備が全く出来てないまま就活に入ってしまった、応募書類の記載事項をスタッフに作文してもらおうとする学生が増えている。
九州	私立	大学院進学予定の外国人留学生が、何処にも合格できず、卒業年の1月に入ってから就職に切り替えるとして相談。「特定活動」ビザ取得要件の採用活動中証明書類も入手し、在留資格変更をしたものの断念し、4月下旬連絡もせず帰国していた。
関東	私立	何を言っても開き直るようなタイプ
関東	私立	こちらからのアドバイスや指導をすべて否定的に捉えてしまうケースの相談
九州	私立	俳優等特殊な職業を希望する学生の相談。推薦書を提出して内定を辞退する相談。
甲信越	私立	一番困ったというわけではないが、地方都市で就職したい、そこでしか就職を考えていない、というような相談が困ります。
関東	国公立	・企業説明会の予約が早くに締め切られてしまい参加できないのですが、どうしたら良いか? ・良い(堅実な)中小企業の探し方について。
中国	私立	エントリー・採用試験可能な企業数の激減。採用結果不採用の場合、次を受験できる企業が無いに等しい。
東海	私立	未内定者の増加(就職諦め組、進路変更組の増加)採用情報の減少
関西	私立	・就職しなければいけないと思うが、やりたいことがない、我慢もしたくないという学生。 ・先生から、キャリアセンターに行って受かる会社を紹介してもらえと言われました、という学生。 ・どこの会社なら受かりますか?ときく学生。
九州	私立	相談に来ない学生がいて指導できない。
北海道	私立	呼び出しに応じない。態度を改めない(明らかにマイナスイメージを指摘しても)。
関西	国公立	就職をしたくない、又は考えていない、フリーターになりたいといった相談。
東海	国公立	やる気がない。就職する気がない。
東北	私立	なぜ働かなければいけないのか。
関東	私立	薬剤師免許を持たない4年制学科の就職動向・新薬学6年制課程の就職支援時期
関東	私立	美大ならではの専門領域に関わる質問(教員マターに近いもの)

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	相談のリピーターが増えたこと。一人当たりの相談時間が増えたこと。
関西	私立	何度指導しても繰り返し相談に来て同じ事を聞く学生の対応に苦慮しています。
九州	私立	「将来何がしたいか分からない。」や、「この会社受けたいんだけど志望動機が分かりません。」といった相談。コミュニケーションが苦手で指導に時間がかかる学生が増えた。
東海	私立	「迷子の迷子の子猫ちゃん」状態で自分か何をしたらよいのか分からない学生に対するアドバイスはゼロからカウンセリングしなければならず手間がかかる。
関東	私立	卒業間際になって、どの業界に向いているのか分からないという相談
中国	私立	企業の求人活動が終わりかける頃(卒業間近)に、今まで動いてなかった学生が切羽詰って就職相談に来たことがあります。
関東	私立	卒業延期に関する相談
関東	私立	大学卒業後に留学、帰国後に就職活動を行う際の企業の探し方について
九州	私立	入社後に求人票と条件が違ったがどうすれば良いか
関東	国公立	説明会へ行っても途中で企業への興味がなくなってしまうという相談。
九州	国公立	目標がなく婚活したいという相談。
甲信越	私立	採用試験が進んでいく中で面接に「私服で」と言われた。がどのような服装で行けばよいか。(ファッション系の企業から)
東北	国公立	内定している学生が、単位不足等で卒業ができない事例
東北	私立	経済的理由で県外の会社説明会に参加できない
関西	国公立	内々定を出した企業に対し、内定辞退を申し入れた所、なかなか聞き入れてもらえず、かつ求人活動に対する費用を要求されたという件。
関東	私立	卒業年度の3月に内定先を辞退し、別のところを受験したいという相談
四国	私立	内定辞退の仕方や保護者の方が必要以上に関与してくる場合。
中国	私立	昨年11月末に内定辞退を促すメールが学生に何度も届き、学生と企業の間に入って翻弄させられた。業績悪化に伴うものであったが、ハローワークと連携し、最終的には円満解決(入社)した。
東北	国公立	大学推薦での内定を辞退する相談
北海道	国公立	昨年の内定切りを恐れて、とりあえず内定承諾し、就職活動を続けたい。
関東	私立	内定取り消しに関する一連の相談
関西	私立	家族(両親)と自分の意見(希望)が合わない
関西	私立	保護者からの要請。ゼミ担当を就職に強い企業経験豊富な教員に変更してほしい(学科で協議し変更)
関東	私立	親に無理に働かなくて良いと言われた。
関東	私立	学生の父親が就職活動に介入し、娘に代わって就職に関する質問を執ようにしてきたこと。
九州	私立	未就職卒業生の父母から子供をかばった苦情
中国	私立	親同伴での相談、親が主導的に相談が進むケース
中国	私立	家庭の悩みと就職の悩みが重なり、相談できる身近な人がいない。
東海	私立	内定が取れてないことを大学のせいにする親からの再三のクレーム
九州	私立	熱心に就職活動を行っているが、内定を取れない学生への対応
中国	私立	基礎学力や対人スキル等、基本的な能力が充分身につけていない学生が「試験に受からない」と相談に来るケース。単発での相談には限界を感じる。長期的・教育的かかわりが必要。
東海	私立	最終面接で5社不採用になったが、その原因がわからない。(本人との面接を通じても原因がわからないため、大学より企業に直接確認した。)
関西	私立	相談に来て自ら発言をしないケース
関東	私立	メンタル相談が増えている
東北	私立	落ち続けて精神的に参ってしまっている学生への対応
北海道	私立	全部の相談で困ってます。特にメンタルケアが困ります。